



TN HEADLIGHT COAT 取扱説明書

⚠ 使用上の注意

ヘッドライトが熱い時の作業は×

ムラ・シミが発生したり拭き取りにくくなるため、炎天下や直射日光のあたる所やヘッドライト表面が熱くなっている場合は使用しないでください。また、ライトを点灯させたまま使用しないでください。

風の強い時の作業は×

キズの原因となるので、風の強い時や砂ボコリの多い所では使用しないでください。

- 用途以外には使用しないでください。
- 換気の良い所で作業を行なってください。
- キズの原因になりますので、使用前にホコリ・泥などを除去してから使用してください。また風の強い時や砂ボコリの多い所では使用しないでください。
- 液剤を直接ボディにかけることや、液剤を付けたまま長時間放置はしないでください。
- 変色・シミになるおそれがあるので、衣服・革製品には付着しないように注意してください。
- 皮膚の弱い方は保護手袋を着用してください。
- 使用後は必ず石鹸で手を洗ってください。

※ コーティング剤の容器中栓部が有効成分で白く固まる場合がありますが、品質上問題ありません。

本商品で除去できないヘッドライトのキズ・汚れ ※ガラス製ヘッドライトには使用できません。

下記状態の場合は本商品の効果が充分発揮できない場合があります。

✕ 爪が引っかかるような深い傷

✕ ヘッドライト内側のくもり

✕ ヘッドライトのヒビ割れ

使用時のアドバイス

研磨・クリーニング作業は縦・横・斜めに

ヘッドライトの研磨・クリーニング作業は、表面を均一に仕上げるために、必ず縦・横・斜めに直線的に作業を行います。

研磨・クリーニング作業は均一な力で

ゴシゴシ力を入れすぎず、均一な力で作業を行います。特に研磨作業は強くこするとキズが取れなくなってしまうので、力を入れすぎないよう、軽い力で磨きます。

コーティング液は塗布しすぎない

コーティング液は塗布しすぎない。非常に伸びが良いので、少量で施工が行えます。塗布しすぎるとボディに液剤が垂れてしまうおそれがあるので、少量の液剤を薄く塗り伸ばします。

商品内容



M-Ver.1 323081

株式会社コムテック
<http://www.e-comtec.co.jp>
〒470-0206 愛知県みよし市荻生町下石田60番地

コムテック サービスセンター **0800-200-5654**
※携帯電話・PHS・公衆電話・IP電話からは **0561-36-5654**

STEP1 事前準備を行う。

① 洗浄



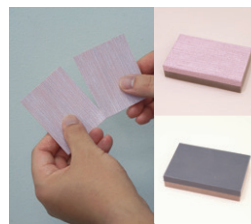
ヘッドライトのホコリ・泥汚れを水拭きで洗浄する。

② 保護



ヘッドライト周辺にマスキングテープを貼り、保護する。

③ 研磨作業ツール準備



研磨作業で使用する耐水研磨ペーパー(ピンク・グレー)を耐水研磨ペーパー用ブロックに貼り付ける。
※各ペーパーは分割して使用する。

 シワが入らないように貼り付ける。

STEP2 荒削りの研磨作業① 耐水研磨ペーパー(ピンク)による研磨作業を行う。

① 研磨



ブロックに貼り付けた耐水研磨ペーパー(ピンク)を水につけ、縦・横・斜め3方向直線的に、全体を均一に研磨します。作業は研ぎ汁が白くなるまで行います。

 作業は力を入れず、水で濡らしながら軽く磨く。
 ヘッドライトごとに新しいペーパーを使用する。

② 拭き取り



水で濡らし固く絞った拭取用クロスで拭き上げます。

作業後の状態



ヘッドライトは全体が白ボケた状態になります。

STEP3 表面調整の研磨作業② 耐水研磨ペーパー(グレー)による研磨作業を行う。

① 研磨



ブロックに貼り付けた耐水研磨ペーパー(グレー)を水につけ、縦・横・斜め3方向直線的に、全体を均一に研磨します。

 作業は力を入れず、水で濡らしながら軽く磨く。
 ヘッドライトごとに新しいペーパーを使用する。

② 拭き取り



水で濡らし固く絞った拭取用クロスで拭き上げます。

作業後の状態



この時点でもヘッドライトは全体がうっすら白ボケた状態になります。
※表面が若干ツツツヤしてくる。

 研磨作業②は研磨作業①より時間をかけ丁寧に仕上げる。

STEP4 下地処理のクリーニング作業① コンパウンドによるクリーニング作業を行う。

① 液剤の取り出し



コンパウンドをクリーナー用スポンジの柔らかい面に適量取り出します。

② クリーニング



均一な力で縦横斜め直線的に作業を行い、透明感が出るまで繰り返し作業を行ってください。

③ 拭き上げ



水で濡らし固く絞った拭取用クロスで拭き上げます。

 作業は力を入れず、水で濡らしながら軽く磨く。

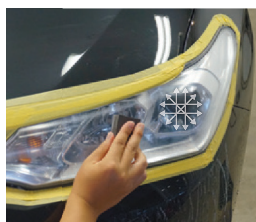
STEP5 仕上げのクリーニング作業② フィニッシュクリーナーによるクリーニング作業を行う。

① 液剤の取り出し



フィニッシュクリーナーをクリーナー用スポンジの柔らかい面に適量取り出します。

② クリーニング



均一な力で縦横斜め直線的に作業を行い、透明感が出るまで繰り返し作業を行ってください。

③ 拭き上げ



マスキングテープを剥がし、乾いた拭取クロスなどで拭き上げる。

STEP6 コーティング作業 コーティング剤の塗布作業を行う。

① 液剤の取り出し



コーティング用スポンジを半分に分割し、スポンジの柔らかい面に液剤を適量付けます。

※液剤は容器の口にスポンジを当てて、上下に振り取り出す。

 液剤の付けすぎに注意。

② コーティング



縦方向にコーティング剤をムラなく塗り広げます。

 ボディにコーティング液が付着しないように注意。

③ 拭き上げ



約15分乾燥後、乾いたコーティング用クロスを使用し、拭き上げます。
※作業後約4時間は水に濡れないように乾燥させる。

 塗り伸ばすように軽く拭き上げる。

 完全硬化まで約1週間かかるので、期間中の洗車などは避ける。